



2024.11.5

No.370

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

和田 英 浩

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

毎月5日発行 定価1部10円（組合員の購読料は組合費に含む）
1996年3月4日第三種郵便物認可

第50回衆議院議員選挙

連合北海道推薦候補者12名全員当選！

第50回衆議院議員選挙は、10月27日に投開票が行われ、連合北海道推薦候補者12名全員の当選となりました。

「働くことを軸とする安心社会」の実現のため、一人でも多くの推薦候補者を国会に送り出そうと、全道各地で最後まで粘り強く取り組みを進めた皆様に心から敬意を表します。

選挙結果の詳細については次号(12月5日)に掲載予定。

第50回衆議院議員選挙 北海道選挙区・ブロック 当選者

【1区】道下大樹【2区】松木けんこう【3区】荒井ゆたか【4区】おおつきくれは【5区】池田まき【6区】にしかわ将人(比例復活)【7区】しのだ奈保子(比例復活)【8区】おおさか誠二【9区】山岡達丸【10区】神谷ひろし【11区】石川かおり【12区】かわはらだ英世(比例復活)【比例代表】臼木ひでたけ

道内の特定(業種別)最低賃金
4業種とともに12月1日から発効

北海道地域の最低賃金は、10月1日から1,010円(時間額)と改定されたが、道内の4業種の産業別最低賃金も改定審議が行われ、12月1日から改定される。

北海道最低賃金の詳細はこちら

https://site.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/minimum_wage.html

【4業種の最低賃金 発効日はいずれも令和6年12月1日予定】

北海道鉄鋼業最低賃金(鉄鋼).....時間額1,100円(70円引上げ)
北海道電子部品・デバイス・電子回路、
電気機械器具・情報通信機械器具製造業最低賃金(電気).....時間額1,049円(52円引上げ)
北海道船舶製造・修理業、船体ブロック製造業最低賃金(造船).....時間額1,040円(50円引上げ)
北海道処理牛乳・乳飲料、乳製品、砂糖・でんぷん糖類製造業最低賃金(乳糖).....時間額1,048円(52円引上げ)

11月はケアラー支援推進月間

こころやからだに不調のある家族などを無償でケアする「ケアラー」。家族から頼りにされる一方で、周囲に悩みを理解されず、心身に負担を抱えている場合がある。特に18歳未満の「ヤングケアラー」は、本人に自覚がない場合があるなど、支援が必要でも表面化しづらい傾向にある。

北海道は、11月11日の「介護の日」と連動して、毎年11月を「ケアラー支援推進月間」とし、集中的な広報啓発活動を展開している。

詳しくは北海道のHPを

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/keara_shien.html

北海道ヤングケアラー相談サポートセンター(ヤンサポ)

0120-516-086

(フリーダイヤル 平日8:45~17:30)

080-9612-1247

(SMS:ショートメール専用 24時間365日受付)

hokkaido.young.carer2022@gmail.com

(メール 24時間365日対応)

ヤンサポは
こちらebetsu-carers.com

〈渡島地協から〉

晴天の下で第12回食と環境まつりを函館で開催

食・みどり・水を守る道南地区労農市民会議が中心となり、2010年から継続開催してきた「食と環境まつり」は、労農連携の強化・拡大とともに、道南の豊富な食材の消費を高めるための地産地消の拡大、環境や飢餓の問題に対する意識を高めること等を目的に開催を続けてきており、今年度も10月5日に第12回食と環境まつりを函館市若松町の旧シーポートプラザ前広場（豊川埠頭）で開催した。

当日は好天にも恵まれた中で、オープニングは「函館市立巴中学校吹奏楽部」44名による大演奏で始まり、開会合図の「花火」も打ち上げられ、黒瀧実行委員長（食・みどり・水を守る道南地区労農市民会議議長）、連合渡島地協・佐藤会長、逢坂衆議院議員からの挨拶のあと、一斉に各ブースの販売を開始した。

スタートから賑わいを見せていた会場内は、お目当てのブースに向かう人たちであふれ、「朝採り野菜の格安販売」「野菜の詰め放題」「米すくい」は長い行列となった。道南食材の「道南カレー」、道南和牛のサイコロステーキなど、多くのブースで早い時間に「完売」するなど、会場は入れ代わり立ち代わりの来場者が途切れることなく、常に賑わいが続いた。連合北海道胆振地域協議会は「プリ丸スープ餃子」を出店し、連合北海道役職員も協力して、食と環境まつりの成功の一翼を担った。

環境ブースやゲームコーナーも大盛況で、「モルック体験コーナー」や「子供向けゲームコーナー」では輪投げやストラックアウトビンゴゲーム、塗り絵などに幼児から小学生が集まった。ステージでのバルーンショーに子どもたちが一喜一憂する微笑ましい光景が広がった。また、飢餓に苦しむアフリカの人々への支援米出荷式を行い、ファンファーレと来場者の拍手によって、出発を見届けた。

新米抽選会の前に行われた閉会式では、江口副実行委員長（道南地区農民連盟委員長）から、「食と環境まつり



快晴の豊川埠頭につめかけた市民

を通じてもっと道南食材の素晴らしさを理解してほしい。準備を担ってきた実行委員や各ブースの力で成功裏に終わることができた」と、挨拶があった。JA新はこだて・JA今金の協力の下で行われた抽選会では、新米450gが20本、2kgが40本、5kgが5本、10kgが1本のほか、今金男爵3kg（10箱）や和牛カレーセット（3個）なども用意され、抽選が始まると会場のあちこちから歓声とため息が入り混じり、景品を楽しみに多くの人が会場に残り、最後の1本まで抽選会を楽しんだ。

約2か月間にわたる準備期間を経て、快晴の下で成功を収めた「第12回食と環境まつり」だが、こうした催しを通じて組合員、会員が積極的に多くの市民と気軽に声を掛け合う姿から、地域住民と一体感を醸成する運動と連携強化の重要性を再認識できた一日となった。今後も議論を重ねながら、市民とともに食と環境問題について考え合える運動のさらなる充実・発展・強化に繋げていきたい。



子どもに大人気のバルーンショー



アフリカ支援米「出荷式」

連合北海道女性委員会 第35回定期総会開催

2025年活動方針等 満場一致で可決

連合北海道女性委員会は、10月5日「第35回女性委員会定期総会」を開催し、代議員・傍聴者を含め10産別3地区より34人が出席した。大会議長には、菊地貴子代議員（北教組）が選出され、議事を進行した。

はじめに河原崎育子女性委員会委員長から「2024年度の活動として、女性委員会幹事を講師としたSDGs学習会や、職場における男女平等をテーマとした初のトークセッション、ハラスメントをテーマとした男性も交えてのトークセッション第二弾を開催するなど、より身近な職場における課題や悩みについて話し合い、共有することができる取り組みを行った。これからも女性が主体的に課題を要請へと押し上げられる、エンパワメントしていける女性委員会の体制を確立していきたい」と挨拶があった。

続いて連合北海道を代表して、金子ユリ副事務局長より「10月からの最低賃金引上げにより有期雇用で働く割合の多い女性にとっては扶養控除の所得制限による就業時間の短縮など働きたくても働けない、企業にとっても人手不足の問題等の課題が生じることが予想され、社会保障制度の見直しが必要となる。連合が目指す『働くことを軸とする安心社会』の実現には国会議員の数と力が必要であり、選挙において投票に行くことが大切」と挨拶があった。

また、来賓として民主女性議員等ネットワーク会議のみなさんが参加してくださり、代表して、畠山みのり道議会議員から「道議会にはダイバーシティ研究会があり勉強会が開かれており研鑽している。また多様性を認める社会となるためには多くの人の理解が重要だが、理解のためにも法制化を進めるべきであり、議会でも発言している。すべての人が我慢することなく健やかに暮らせる社会をめざす」とご挨拶をいただいた。

2025年活動方針案が満場一致で可決された後、今年度の役員体制も確認され、事務局長には新たに菊地貴子さん（北教組）が選任され、田中紀恵さんが退任した。

退任する役員を代表し前事務局長の田中紀恵さんから「就任してすぐに新型コロナウイルスの影響で活動が制限され、女性委員会として活動が困難な時期もあったが、コロナ禍こそ女性が大変だった時期。女性委員会の大切さを感じた。様々な職種の人と出会い話し合うことでそれぞれの悩みや困り感などを知ることができた。『女性が働きやすい職場は皆が働きやすい職場』と言われている。今後も皆で協力し合い働きやすい職場づくりをしていきたい」と挨拶された。

連合北海道女性委員会は、誰もが多様性を認め、互いに支え合うことのできる職場・社会の実現をめざす。その実現に向けて、男女平等参画をはじめとして、「真



退任の田中紀恵前事務局長



新任の菊地貴子事務局長

2025 連合北海道女性委員会 構成

役職	名前	所属	役員歴
委員長	河原崎 育子	自治労	再任
副委員長	新名 玲子	J A M	再任
事務局長	菊地 貴子	北教組	新任
事務局次長	横内 智子	国公連合	再任
幹事	鈴木 素能子	北教組	再任
幹事	中田 舞	情報労連	再任
幹事	對馬 小百合	電力総連	再任
幹事	池山 直子	J P 労組	新任
幹事	菅原 まどか	全労金	再任
幹事	大竹 美佳	運輸労連	再任
幹事	加藤 美穂	運輸労連	再任
幹事	調整中	自治労	

の多様性」に向けた取り組みを地域や産別と連携し進めていく。

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9485>



11月は「過労死等防止啓発月間」です

厚生労働省は11月を、「過労死等防止対策推進法」に基づき、過労死等を防止することの重要性について関心と理解を深める「過労死等防止啓発月間」としている。あわせて「過重労働解消キャンペーン」として、長時間労働の是正や賃金不払残業などの解消に向けた重点的な監

督指導やセミナーの開催、「過重労働解消相談ダイヤル」などが全国で実施されることとなっている。

詳細は厚生労働省のページをご覧ください

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_43985.html



しごとより、いのち。

仕事は本来、やりがいや生きがいを生み出し、人生を豊かにしてくれるもの。働き過ぎで心や体の健康を損なうことは絶対にあってはなりません。

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会へ

STOP! 過労死 毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

参加無料 過労死等防止対策推進シンポジウム 11月を中心に、全国47都道府県、48か所で開催しています。

0570-080-082

厚生労働省 人事院 内閣官房内閣人事局 総務省 文部科学省 正しい情報や相談窓口はこちら 厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp> 厚生労働省 過労死防止 啓発

毎日の労働時間、見直しませんか？

ダメ、働きすぎ!

11月「過労死等防止啓発月間」に「過重労働解消キャンペーン」を実施します!

労働基準監督署が相談をお受けします。無料 令和6年11月2日(土) 9:00~17:00

0120-794-713

※全国どこからでも利用できます(スマートフォンからも無料) ※匿名でもOK

11月1日~7日は、過重労働相談受付集中期間です

0120-811-610

労働条件相談ほっとライン 月~土17:00~22:00 土日・祝日9:00~21:00

11月2日(土)は、SNS相談も実施しています

厚生労働省 都道府県労働局 労働基準監督署

奨学金に関する無料電話相談!

11/15(金)~16(土)
10:00~19:00

0120-783-000
北海道労働者福祉協議会
受電先:北海道ライフサポートセンター
<http://www.hokkaido-roufukukyo.net/>



11月の主な動き

- 11月13日(水) 13:30 連合第6回地方連合会事務局長会議/連合会館
- 11月15日~16日 北海道労福協 奨学金に関する無料電話相談
- 11月21日(木) 13:30 連合第14回中央執行委員会/連合会館
- 11月25日(月) 10:00 第14回執行委員会/ニューオータニイン札幌
- 13:30 第47回労働福祉対策特別委員会/ニューオータニイン札幌
- 15:00 第12回地協事務局長会議/ニューオータニイン札幌
- 11月27日(水) 14:00 連合第4回地方連合会代表者会議/連合会館
- 11月28日(木) 10:00 連合第94回中央委員会/浦安ブライTONホテル
- 18:30 道産品評価試食会/ポールスター札幌
- 18:30 判例研究会/かでの2・7

イベントカレンダー

連合北海道
第37回年次大会は
12月17日(火)開催

